



# 遣伯使見聞録



## Para todas as crianças (すべての子どもたちのために)

ブラジルでは貧富の差がはっきりしています。住む地域や着るものですぐにわかります。でも、陽気で一生懸命生きているのがブラジル人という印象です。サンパウロにある公立学校と私立学校に訪問しました。確かに教育環境の違いははっきりしていました。それぞれの学校の努力や良さがわかりました。すべての子たちに、一定レベル以上の教育を与えてあげられないかと思いました。

### 州立学校 (6~14歳)

サンパウロ郊外にある州立の小中学校に訪問しました。経済的に厳しい家が多い中に、高層マンションが建てられているような発展途上の地域。小学校は市立へ移行しているが、市だけでは運営できない地域では州が運営しているようです。

○全校児童生徒は約700人。ブラジル人に加え、ポリア人も多く在籍。

○午前中は6~9年生(中学生)、午後は1~5年生(小学生)



○校長の学校運営方針

親からの愛情が足りない子が多い。どの子にも愛情をこめて、話かけ話を聞いてあげる。そうするよう先生たちにも伝えている。

○IDEB以外にもサンパウロ州の学力テストを実施している。テストの結果が学校の評価や給料にも関わるので、先生たちは必死になる。

○州の教育局が子どもたちの伸ばしたい力を分析し、各校の教員指導担当に伝達する形で、教員研修を行っている。

○教頭先生より

・勉強に意欲がない子が多い。学校が人生のステップになるということがわかっていない。親に連絡をすると「仕事だから」と言って学校の話を受け入れてくれない。

・消耗品や備品の購入、設備の修繕などはお金も時間もかかりすぎなかなか整わない。今年は泥棒に入られ、パソコンなどすべて盗られてしまった。

・中学高校生となると先生に反抗的になり、病んでしまう先生もいる。そんな中、先生たちは家庭もあり、2、3校かけもちで勤務していて、まるで「戦士」である。ブラジルは「自分さえよければいい」という人が多すぎる！



★公立学校の先生たちと話しているとだいたい行政や親に対する不満になってきます。子どもたちは元気で素直な子たちばかりでした。「僕の先生の名前を日本語で書いてください」という言葉に学校への愛着や信頼を感じました。

### 私立学校 (7~17歳)

サンパウロ市街にある私立学校に訪問しました。小2~高3まで約1900人が通う典型的な私立校。学費は月に約10万円前後。お金持ちのお子さんが最高の施設・設備で、高いレベルの教育を受けていました。



○午前は必修、午後は4時間自分で選択して授業を決める。幼いうちから「自主性を重んじ、選択・決定することを学ばせたい」というのが学校の方針。

○「公立は現状に対応している、ここは教育理念のもと、前向きに運営しているという印象。どの子にもこういう教育を与えたい！」(夏目)→どの子にもそうさせたい。

がんばる子が多い、先生たちも一生懸命。なのに、ブラジルの社会情勢、教育制度、家庭の理解と協力が対応できていない。公立から学ぶことも多い。全体を変えるのは難しいから、自分の学校としてできることから取り組んでいる。公立と提携・交流し、教育支援を行っている。IDEBは行っていない。

○冷暖房完備、観客席付きの体育館、屋内プールをはじめ、各教科の特別教室がある。最新式の設備だが整っていて、さらに話し合いや教え合いの授業、学習と生活をつなぎ活用できる知識や技能の習得、教科の枠を超え合科的な授業の展開など、子どもの実力を伸ばすための授業がしっかり行われていた。

○見かける子は何か目的意識をもって行動していた。高校生になれば全員英語が話せ、全員大学進学。先生たちも結果を残せば、多くの給料がもらえる。

○暴力・暴言、反社会的な問題行動を起こす子はいない。ただ、いじめやうつ病になる子はいる。「ここは管理・隔離された別世界ですから」と言われた。

★公立校への支援を推進しているのには感銘を受けました。「管理・隔離された別世界」という言葉には驚きと納得がありました。公立校とは全く違い、寄ってきたり話しかけたりしてくる子はいませんでした。物、時間、生活全般、そして愛情に満たされているからかな、日本の子たちに近いなと感じました。



### すき間を埋める？すき間を楽しむ？ ~ナッツコラム~

日本の先生たちは、休み時間になれば、宿題の点検、困っている子の対応、授業の準備、できれば子どもと遊ぶ。本当ががんばっているね。ナッツも担任のころはそうだった。すき間があれば、やることを埋めていく。一方、ブラジルでは、休みは休み、仕事は仕事とはっきり分けていて、余計に働かない。時間があれば、食べたり飲んだりおしゃべりしたりして、すき間を楽しんでる。そんな空気に慣れてきたナッツは、帰国を前にちよっぴり不安なんだよね。(ナッツの腕時計より)

